



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック
 コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 村田 竜三

TEL 03-6228-6463

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,513	0.8	45	40.1	44	41.5	28	46.3
2019年3月期第2四半期	1,525	0.5	75	405.8	75	423.1	52	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 26百万円 (48.1%) 2019年3月期第2四半期 50百万円 (281.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.29	
2019年3月期第2四半期	6.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	1,627	912	56.1	106.47
2019年3月期	1,806	903	50.0	105.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 912百万円 2019年3月期 903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,485	11.5	122	22.3	121	22.6	65	28.7	7.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社ジェイテックアーキテクト

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,572,400 株	2019年3月期	8,572,400 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,800 株	2019年3月期	2,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	8,569,600 株	2019年3月期2Q	8,569,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化や中国経済減速の顕在化など不安定な国際情勢から輸出や生産の弱さが継続しており、景況感には一部慎重さが見られたものの、好調な企業収益や雇用環境を受け、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、自動運転技術を備えた先進安全自動車等の開発に伴った自動車関連分野や、IoT関連分野の開発に伴う制御系ソフトウェア開発分野へのテクノロジスト需要が旺盛でした。また、営業施策の強化や、テクノロジストの高付加価値業務への配属を推し進めたことにより、契約単価は前年同期を上回りました。加えて、新入社員の早期派遣配属に努め、早期の収益化を推し進めました。一方で、技術系人材の獲得競争が激化している中、計画通りのテクノロジスト採用は困難を極め、人材不足により案件に対応しきれない状況にありました。

費用面においては、全社を挙げた業務効率化とコスト削減を推し進めましたが、採用強化のための採用費の増加、請負・営業部門の増床を実施したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,513,100千円（前年同期比0.8%減）、営業利益45,459千円（前年同期比40.1%減）、経常利益44,229千円（前年同期比41.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益28,228千円（前年同期比46.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 技術職知財リース事業

半導体・集積回路関連分野の顧客企業からの取引が前年同期より増加したものの、自動車関連、建築関連分野の顧客企業からの取引が前年同期より減少し、事業全体の売上高が減少となった結果、売上高は1,448,199千円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は216,655千円（前年同期比4.8%減）となりました。

② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

利益率の高いヒューマンリソース事業の取引が増加したものの、精密機器関連、情報処理関連の分野で一部技術職知財リース事業へシフトしたこともあり、事業全体の売上高が減少となった結果、売上高は64,901千円（前年同期比12.5%減）、セグメント利益は3,310千円（前年同期比70.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,627,905千円となり、前連結会計年度末より178,634千円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少192,917千円、売掛金の増加17,301千円によるものであります。

負債合計は715,461千円となり、前連結会計年度末より187,852千円の減少となりました。これは主に借入金の返済による減少53,894千円、未払法人税等の減少44,706千円、未払費用の減少22,992千円によるものであります。

純資産合計は912,444千円となり、前連結会計年度末より9,218千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上28,228千円、剰余金の配当による減少17,139千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は56.1%と前連結会計年度末の50.0%に比べ6.1ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ192,917千円減少(前年同期は44,620千円の増加)し、1,009,870千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は106,838千円(前年同期は108,212千円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益39,120千円による資金の増加があったものの、法人税等の支払額44,519千円、未払費用の減少額22,992千円、預り金の減少額22,857千円、売上債権の増加額17,301千円、未払消費税等の減少額16,710千円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は15,216千円(前年同期は2,696千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出14,048千円、無形固定資産の取得による支出698千円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は70,862千円(前年同期は60,895千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出53,894千円、配当金の支払額16,968千円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,202,788	1,009,870
売掛金	358,976	376,278
仕掛品	1,800	5,949
その他	48,124	39,275
貸倒引当金	△783	△761
流動資産合計	1,610,907	1,430,613
固定資産		
有形固定資産	9,841	16,008
無形固定資産	4,080	4,063
投資その他の資産		
敷金及び保証金	70,622	79,710
繰延税金資産	70,399	61,514
その他	40,689	35,995
投資その他の資産合計	181,711	177,220
固定資産合計	195,632	197,292
資産合計	1,806,540	1,627,905
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	106,088	104,388
未払金	108,582	91,297
未払費用	72,780	49,787
未払法人税等	49,377	4,670
未払消費税等	44,572	27,862
賞与引当金	174,198	161,388
その他	44,509	21,651
流動負債合計	600,107	461,046
固定負債		
長期借入金	138,944	86,750
退職給付に係る負債	164,261	167,664
固定負債合計	303,205	254,414
負債合計	903,313	715,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	246,328	246,328
利益剰余金	376,928	388,018
自己株式	△659	△659
株主資本合計	884,432	895,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,532	22,842
退職給付に係る調整累計額	△5,738	△5,919
その他の包括利益累計額合計	18,794	16,923
純資産合計	903,226	912,444
負債純資産合計	1,806,540	1,627,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,525,751	1,513,100
売上原価	1,129,471	1,119,927
売上総利益	396,279	393,173
販売費及び一般管理費	320,364	347,714
営業利益	75,915	45,459
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	292	327
その他	330	86
営業外収益合計	622	414
営業外費用		
支払利息	956	644
和解金	—	1,000
営業外費用合計	956	1,644
経常利益	75,582	44,229
特別損失		
固定資産除却損	—	2,439
関係会社株式評価損	—	※ 2,669
特別損失合計	—	5,108
税金等調整前四半期純利益	75,582	39,120
法人税、住民税及び事業税	19,328	1,261
法人税等調整額	3,646	9,630
法人税等合計	22,975	10,892
四半期純利益	52,606	28,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,606	28,228

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	52,606	28,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,355	△1,690
退職給付に係る調整額	△430	△180
その他の包括利益合計	△1,786	△1,870
四半期包括利益	50,820	26,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,820	26,357
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	75,582	39,120
減価償却費	2,367	2,699
受取利息及び受取配当金	△292	△327
支払利息	956	644
和解金	—	1,000
固定資産除却損	—	2,439
関係会社株式評価損	—	2,669
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,068	△12,809
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	3,222
売上債権の増減額(△は増加)	23,303	△17,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	△843	△4,149
未払金の増減額(△は減少)	△3,445	△13,913
未払費用の増減額(△は減少)	2,574	△22,992
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,218	△16,710
預り金の増減額(△は減少)	△1,500	△22,857
その他	335	△1,726
小計	115,315	△60,992
利息及び配当金の受取額	292	327
利息の支払額	△952	△654
和解金の支払額	—	△1,000
法人税等の支払額	△6,443	△44,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,212	△106,838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,163	△14,048
無形固定資産の取得による支出	△1,722	△698
敷金及び保証金の差入による支出	△265	—
敷金及び保証金の回収による収入	453	70
長期前払費用の取得による支出	—	△540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,696	△15,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52,194	△53,894
配当金の支払額	△8,400	△16,968
リース債務の返済による支出	△300	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,895	△70,862
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,620	△192,917
現金及び現金同等物の期首残高	1,095,221	1,202,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,139,841	1,009,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※関係会社株式評価損

関係会社株式評価損は、非連結子会社であるIDEAL POSITIVE SDN. BHD. の株式に係る評価損であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,451,609	74,142	1,525,751	—	1,525,751
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	3,443	3,443	△3,443	—
計	1,451,609	77,585	1,529,194	△3,443	1,525,751
セグメント利益	227,583	11,176	238,759	△162,843	75,915

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△162,843千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,448,199	64,901	1,513,100	—	1,513,100
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,707	1,707	△1,707	—
計	1,448,199	66,608	1,514,808	△1,707	1,513,100
セグメント利益	216,655	3,310	219,965	△174,506	45,459

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△174,506千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。